

根こぶセンチュウ対策

対策

センチュウは酸素の多いところで乾燥している土壌に多く見られる。

1. 苗からの対策

古いポットを完全に消毒するか、新しいものに交換する。

(ポット及び作業する土のまわりにセンチュウがいることがあり、ポットの中でセンチュウが小さなコブを形成してしまうため)

2. 土壌の対策

土壌の表面から10～15cm位にセンチュウは越冬して住み着いている。

- ① 全面的に完熟堆肥（牛の休肥等だとセンチュウの住処になってしまうため）と肥料・微量元素・微生物資材等を入れ、全面深耕（約30cm位）を行う。
- ② ニーム顆粒（20kg）を全体に2袋散布してベットを作る。
- ③ ベットの上にさらにニーム顆粒（20kg）を1-2袋散布して植えつける。
- ④ 灌水チューブで、天然ミネラル-1（3000倍）・ニューオスマックエコ（土壌浸透剤）・EB-aエコ（土壌団粒化）をいれ全面灌水する。水量は約3トン。灌水は植え付け前でもあとでもよし。



灌水土性ミネラル
(1000倍、10aあたり1L)
発根促進に！！



ニューオスマック
(3000倍、10aあたり3L)
土壌浸透剤



EB-aエコ
(10aあたり10L)
土壌団粒化

- ⑤ マルチをする方は、ベットの上に散布するニームを植穴に半分入れ、残りの半分を定植の後に穴の上に散布する。

ネコブセンチュウは7割以上改善され、2-3年引き続き対策を行う間にいなくなることが確認されています。

ニーム顆粒を散布することにより、ネキリムシやヨトウムシなどの土壌害虫も少なくなります。

また、ハウスの内側（サイド）等に散布しておくこと、コナジラミやアブラムシの発生も少なくなります。

ニームの効果は約2ヶ月ほど持続しますので、ニームオイル（NewアクトLG）を上から散布すると、より効果的です。